

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 福永堅吾

取組状況	
教育	<p>1. 独自のプリント教材および演習プリントを作成 英語Ⅲ、電気電子4年工業英語において、教材と演習プリントを作成した。新出の文法を学習する際に、ポイントを穴埋めにして例文を多く掲載したプリントを作成し、理解の助けとなるよう工夫を施した。また、良質なTOEIC L&Rの問題を抜粋して演習プリントを作成し、TOEIC IPテストのスコアアップを図るよう心がけた。その結果、担当した3300は、学年で最も平均スコアがよかった。工業英語ではライティングに特化し、演習を繰り返してパラグラフを完成させられる工夫をした。</p> <p>2. オンライン授業での工夫 電気電子の教員のサポートで、休校・分散登校期間でのオンライン授業を、Teamsを用いることによって通常の授業とあまり遜色ない形式で実施することができた。</p>
研究	<p>今年度は、次年度執筆予定の論文のための資料収集を行なった。具体的には、先般創立100周年を迎えたバウハウスが、1933年のナチスによる強制閉鎖に至った過程と、その過程での関係者の言説を集め、閉鎖に至るまでにはたっていた思想について検証をする予定である。</p>
社会貢献	<p>1. 日英言語文化学会 運営委員 2. 語学教育研究所 研究員・出版部、『語研ジャーナル』編集担当</p>